

## バイオセラピー学発展実験・実習（4単位）

担当者氏名 宮本 太・御影雅幸・三井裕樹

## ◆学習・教育目標（到達目標を記載）

バイオセラピー学専攻の人間動物関係学，人間植物関係学および生物介在療法学の各専修の専門分野の内容を理解するため，授業担当教員の指導下でバイオセラピー学の各専門分野における課題や目的について，それらを解決，達成するための実践的手法を習得する。実験・実習のテーマは各専修で設定するが，学部で習得した内容を発展させ，修士論文に直接関係するものだけでなく研究者および専門性の高い職業人となるための課題とする。本演習を通じて動植物を活用することによる人の豊かな生活の構築について実践的な活躍ができる人材を養成することを目的とする。

## ◆取り扱う領域（キーワードで記載）

野生動物                      植物共生                      伴侶動物                      人間植物関係  
動物介在療法                      植物介在療法

## ◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	演習の目的と概要を把握する（第1週）	授業担当者と演習の内容と準備についてあらかじめ充分打ち合わせしておくこと  出される課題に対し、レポートを作成すること
2	演習テーマの設定（第二週）	植物共生学の概念を理解し、バイオセラピー学における位置づけに沿った演習の課題について具体的内容を設定する（第2週）	
3	演習のテーマ設定	各課題の背景、目的、方法、効果等についての文献調査（第3週）	
4	演習の手法	各課題に関する調査研究方法等の習得と習熟（形態解析、DNA解析、成分解析、生態調査、その他個々人が興味を持つ専門分野に関わる課題）	
5	演習の実践	課題に対する実践（第4、5、6週） 各実験手法を実践し、それぞれの解析および調査を実施	
6	成果のとりまとめ	（第7、8、9、10、11週）	
7	成果報告および総括	課題に対するレポート作成（第12、13週） レポートの内容を授業担当教員に報告し、プレゼンテーションによる質疑応答を実施、達成度を確認する（第14、15週）	

## ◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

必要に応じて指定する

## ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

必要に応じて指定する

## ◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

事前検討、プログラム、実践およびレポートの評価を総合して行うことから，指導内容と時間、指導への対応等について記録した月報を作成する。

## ◆オフィスアワー

宮本、御影、三井 水曜日 12:00-13:00

◆その他受講上の注意事項 研究室教員との連絡を密に取るように心がけること。

---